

## 【自然の中での体験を通して課題を生み出すプログラム】

現代の子どもたちは、自然に親しむ経験が非常に少ない。そこで、五感を使いながら自然とふれあう体験活動を通して、自分たちが取り組みたい課題を生み出していく。

その課題を学校にもどってからも追求・解決していく中で、自然の楽しさ、ありがたさ、大切さを感じ取るとともに、自ら自然を保全していこうとする意識を高めていく。

	1日目	2日目	3日目
午前		<b>火起こし体験</b> グループで協力しながらひもぎり式で火を起こす。	<b>野外炊飯</b> 起こした火を使って、槓を燃やし、ご飯とカレーを作る。
午後	<b>ネイチャーゲーム</b> 森のビンゴなどのゲームを通して、植物や昆虫、動物などの特徴、自然の事物の特色などを知る。	<b>炭焼き体験</b> 竹炭づくりし、竹炭が自然に及ぼす好影響について知る。	<b>学習のまとめ</b> いろいろな自然体験を通して発見した自然の楽しさやありがたさ、大切さ等について発表する。
夜	<b>ナイトハイク</b> 昼間とちがう自然の姿を五感を使って調べる。	<b>プラネリウムと実天観測</b> 宇宙の不思議さや昔の人が生み出した星座について知る。	



学校周辺地域の自然を利用して体験活動を行う



九重の自然の様子と比較し、共通点や相違点をまとめる



環境という視点から課題を生み出していく

